

聞き取り：プロト・タイプ

【本人属性】

生年月日

生地（現住所と異なる場合）

最終学歴

現職

家族構成（存命如何に関わらず） 2親等まで

構成員（年齢、現職、現住所）

【聞き取りシノプシス】

目的：

当人がその存在を意識しないところまで日常化された「科学的な情報ないし知識」との接点をマイニングする。

基本ルール：

1. 「科学的情報との日常的接点」を求めるとはいえ、それを意識的には問わない。
2. 出来るだけ本人の語りの流れに任せる
3. 独自の方向に発展させたい場合は、その機会を流の中から拾う
4. 当人と生活の一部となっている様々な施設（最寄駅、スーパー、地元クリニックなど）との距離は聞き取り者が特定できるように工夫する。

ポインター：

1. 一日の生活動線に即した行動の記述を求める
 - a. 平日と週末で動線に差異があるかを確認する
 - b. 月によって動線に差異があるかを確認
 - c. 季節（春夏秋冬）によって動線に差異があるかを確認
 - e. 冠婚葬祭での動線の確認（過去一年間の頻度）
2. 近い人間（物的に近い、あるいは同窓生、縁者——特に二等親以内——）との接点とその文脈
3. 消費生活に触れる部分に注目（同時にその調達方法の確認）
4. 疾患時などの緊急時の経験（回顧でよい）